巡拝用品や四国の名産品までが揃う門前一番街

四国遍路のスタートとなる霊山寺の山門前に、「門前一番街」という商業施設がある。遍路に必要な巡礼用具や名産品などが充実しているので、仮に手ぶらできたとしても四国霊場を巡るにふさわしい巡礼装束が入手できる。また、軽食が食べられるお茶席コーナーも設けられていて、スタート前の腹ごしらえもできる。

モータリゼーションの発達していなかった時代、遍路は長く厳しい道のりを歩いて回るしか方法がなかった。さまざまな事情を抱え、それぞれの思いを胸に秘めた人たちが白衣を身に纏い、行き倒れても仕方ないと覚悟して巡礼の旅をしていた。白衣には死装束という意味が込められていたのだ。しかし、近年は歩き遍路よりもマイカーやバス、列車、バイクなどを利用する人が多く、服装もさまざまだ。動きやすい服装はラクだが、上だけでも白衣を着て、輪袈裟を首にかけ、金剛杖を手にすると気持ちが引き締まるのもまた事実だ。時代が変わった現代、白衣は純粋無垢の姿をあらわしているとされ、金剛杖は弘法大師の分身であり、大師に見守られて巡礼をしている証でもある。正式とまではいかなくとも、霊場を巡るにふさわしい巡礼装束で四国の自然を歩いていると、青空に浮かぶ白い雲のように新たな思いが胸に去来するに違いない。

栗とコシヒカリで作られた焼き餅「あわくった」。栗とよもぎの2種類がある。

硬質な讃岐うどんに比べて優しい食感の「鳴ちゅるうどん」。写真は鳴門のわかめがたっぷり入ったわかめうどん。

物産館と記念館が一体となった道の駅「第九の里」

霊山寺から極楽寺までの遍路道から少し北に外れた場所に、物産館・鳴門市ドイツ館・賀川豊彦記念館が一体となった道の駅「第九の里」はある。

鳴門市ドイツ館は、第一次世界大戦時に板東俘虜収容所で生活したドイツ兵と地元の人々との交流を後世に伝えるために建てられた記念館で、賀川豊彦記念館は平和運動に挺身した賀川豊彦の諸活動や資料を紹介している。

道の駅 第九の里
住所：鳴門市大麻町桧字東山田53
電話：088-689-1119
営業時間： 9時〜17時（物産館）／9時30分〜16時30分（軽食コーナー）
定休日：第4月曜日（祝日の場合は翌日）

門前一番街
住所：鳴門市大麻町板東字西山田23
電話：088-689-4388
営業時間：7時〜17時
定休日：年中無休

菅笠や数珠、金剛杖など四国霊場を巡るにふさわしい巡礼装束一式が揃っている。

安楽寺の参道にある土産物店「お四国のしらかわ」

お守りやお菓子、遍路用品などを販売している「お四国のしらかわ」では、コーヒーを飲んで休憩することもできる。中でも人気なのが伝説にちなんだ「さか松煎餅」。さか松は、猟師が誤って放った矢から弘法大師を守り助けたと伝えられる樹齢1300年にもなる松の木で、安楽寺境内の池のほとりにある。このさか松を拝むと厄除けになるといわれ信仰を集めている。

お四国のしらかわ
住所：板野郡上板町
　　　引野寺ノ西北8
電話：088-694-5889
営業時間：9時〜16時30分
定休日：年中無休